

(様式第5号)

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：下高井郡スポーツ協会]

[記載日：令和7年3月31日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 役員による総会を開催し、意思決定を行っています。規約も存在し、それに則って運営されています。今後も規約等を遵守しながら周知徹底を図ります。	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 主催するスポーツイベント運営においては、安全管理に関する法令や関係省庁・団体のガイドラインを遵守するよう努めています。しかし、最新の法令やガイドラインに関する情報の収集や、競技者への周知が十分でない場合があります。今後は、関連法令等の情報収集体制を強化し、研修などを通じて周知徹底を図ります。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	A

(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 会長、副会長、理事、監事といった役員を置き、役割分担や責任範囲を明確化しています。今後も、役員体制を維持しながら進めます。	
原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 現時点では、組織運営に関する目指すべき基本方針を明文化し、公表していません。今後は、協会の目的や事業内容、運営方針など、ウェブサイトを通じて地域住民に公表することを検討します。	
原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 役員に対して、コンプライアンスに関する教育や研修は実施していません。今後は、暴力行為やハラスメント防止に関する研修の実施や、関連資料の配布などを検討し、役員のコンプライアンス意識の向上を図ります。	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	C
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 所属する団体に対して、コンプライアンスに関する教育や研修は実施していません。今後は、研修会や講習会において、コンプライアンスに関する内容を盛り込むことを検討します。	
原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 会計担当者を置いて、収入・支出の記録を適正に行っています。今後も、公正な会計原則に則った処理を行います。	
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	A

（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 補助金等を受けている場合、その使用にあたっては要綱を遵守するよう努めています。今後も、補助金の適切な使用と報告体制を維持します。	
(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 会計処理は、複数名によるチェック体制をなっており、監査機能は十分に整備されています。今後も、現体制を維持し会計処理の透明性を図ります。	
原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに，組織運営に係る情報を積極的に開示することにより，組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	B
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 所属する団体に対して必要な情報は適宜伝達するよう努めています。今後は、自主的に組織運営に関する情報を開示する範囲や方法について検討します。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	B
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 所属する団体に対しては、総会を通じて活動報告などを行っています。今後は、ウェブサイトでの情報開示など、透明性の向上を検討します。	